

指定管理施設の管理運営状況のまとめ(令和2年度分)

施設名 出雲かんべの里
 指定管理者 特定非営利活動法人八雲総合サービス協会
 担当課 生涯学習課
 指定期間 平成28年4月1日～令和3年3月31日

1. 総合評価

市	S	<p>【優れていると評価した点】 新型コロナウイルス感染症による影響を受けている中でも、感染対策を行った上で小規模なイベントを数多く開催し、施設の魅力を高めている点について評価する。 本施設の設置の趣旨を踏まえ、入居する工芸作家及び民話館の語り部とも連携しながら、工芸文化の維持・伝承、民話の普及に努めている。</p> <p>【評価できない、または改善すべき点】 施設設備の老朽化が進んでいる箇所もあるため、引き続き点検を行い早期発見に努めること。</p>
---	---	---

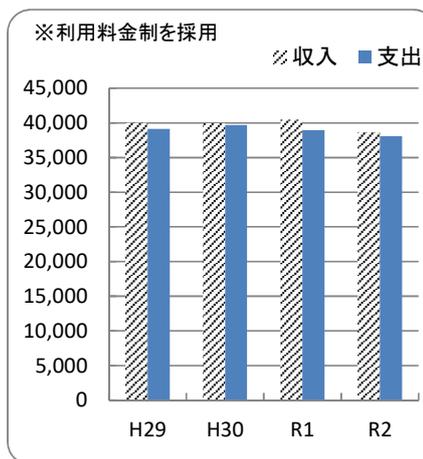
指定管理者	S	<p>【優れていると評価した点】 新型コロナウイルス対策の緊急事態宣言による閉館(4月11日から6月10日まで、工芸体験、民話体験は、全て中止)等の影響により、利用の低迷が続いた上、工芸館の大規模改修のため12月から3月までの利用制限があった。このような状況の中、感染拡大防止策を講じて、屋外の森を利用したイベントや、民話館での語りのイベント、丘のクラフト展などを随時行い、利用促進を図ることができた。また、HPの刷新を図り、工芸館のリニューアルに合わせて、新たな魅力を発信できた。</p> <p>【評価できない、または改善すべき点】 民話館の映像機器の更新が今後の課題である。</p>
-------	---	---

2. 施設利用の増減について

総括	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者数は全体で、対前年度比65.4%と減少した。 [民話館前年度比 64.8%、工芸館前年度比 64.7%] ・利用料収入は、全体で76.7%と減少した。 [民話館前年度比 57.8%、工芸館前年度比 92.9%] ・新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者数、利用料収入ともに減少した。
----	--

(1) 収支状況の推移 (自主事業を除く) (千円)

項目\年度	H29	H30	R1	R2
施設の収入	40,046	39,963	40,466	38,663
うち指定管理料	39,648	39,636	40,135	38,409
うち利用料	398	327	331	254
施設の支出	39,149	39,679	38,968	38,079
差引	897	284	1,498	584

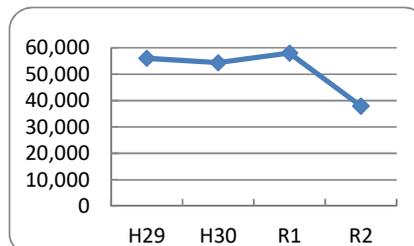


上記以外の市の収入、支出

市の収入	H29	H30	R1	R2
収入(使用料)	0	0	0	0
支出	7,888	4,085	21,347	70,972
うち市の修繕費	7,834	3,977	20,130	1,582

(2) 利用者の推移 (人)

年度	H29	H30	R1	R2
利用者数	56,051	54,418	58,014	37,954



【参考】産出指標(アウトプット)・成果指標(アウトカム)の達成状況

指定管理者が管理する公の施設は、市の施策を実現するために設置されたものですが、その設置目的の多くは抽象的なものとなっています。この設置目的を効果的に実現するためには、市が目標(指標)を具体的に示し、指定管理者と共有した上で施設の管理運営を行うことが大切です。

さらに、目標(指標)がどれだけ達成されたかを客観的に評価するため、指定管理者の活動の結果(アウトプット)や活動からもたらされた成果(アウトカム)を数値化し、市民の皆さんへ公表します。

- 〔 A 基準値 : 指定管理者募集の際に、市が提示した指標の値
- 〔 B 目標値 : 市が提示した基準値に対し、申請時に指定管理者が提案した値
- 〔 C 実績値 : 実績の値

分類	指標	A 基準値	B 目標値	C 実績値	目標に対する 達成度 C/B	基準に対する 達成度 C/A
アウトプット	①施設の利用人数(人)	49,337	50,000	32,476	65.0%	65.8%
	②モニタリングにおける顧客満足度(%)	70	70	89	127.1%	127.1%
	③工芸作家、民話館「とんとお話し会」との連携によるものづくり体験教室や民話の伝承	実施	実施	実施	—	—
	④新緑祭り(5月実施)(人)	2,500	4,000	中止	—	—
	⑤夏祭り(7月実施)(人)	2,500	4,000	中止	—	—
アウトカム	モニタリング調査における下記質問事項の肯定的割合(%) ・出雲地方の歴史や文化について関心が高まった。 ・学習の成果を活用したいと思う。 ・生涯にわたって学習したいと思う意欲がある。	70	70	71		
				達成度平均	96.0%	96.5%

	指定管理者	市
達成度に対する意見	<p>【達成度に寄与した・有効だった取組みの内容、次期に向けた課題】</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大防止の観点より、大規模なイベントは中止となったが、丘のクラフト展については、予防対策を講じて、開催することができた。また、小規模な催しを回数を増やす形で開催した。民話館について、パネル展示をはじめ、故障した映像機器の改修等、引き続き松江市と協議していく必要がある。また、民話の番組がマーブルテレビで放映されているので、民話への関心が高まるよう十分にPRしていきたい。</p> <p>自然の森については、島根県の水と緑の事業や、国の助成金を利用し、市民が憩う森作りと、森の活用を継続していく。</p>	<p>【達成度の原因・分析】</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響による休館や、イベントの中止により目標を達成できなかったと考えられるが、感染防止策を講じた上でのイベント実施や、工房に同居する工芸作家、民話館の語り部と連携を取りながら運営に取り組んでいる点が、施設利用者の満足度につながっていると考えられる。</p>

(3)利用者アンケート

回答数	施設職員の対応・態度等、施設管理やサービスについて	主な意見
28	①満足している 25件(89%) ②満足していない 2件(7%) ③未記入 1件(4%)	①良い ・陶芸体験をして楽しかった。 ・森の道端に栗やどんぐりがたくさんあって拾いました。 ②苦情 ・なし ③要望 ・なし

(4)住民サービス向上の事例

イベント時における民話館入館料の無料化

3. 自主事業

総括	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響により大規模なイベント等が中止になったが、民話館での語りのイベントや自然の森を活かしたイベント等、小規模なものを回数を増やす形で実施し工夫して取り組んだ。 ・季節のイベント等では施設利用者だけでなく、周辺住民とも協力して事業を実施するなど地域の活性化にもつながっている。
実施状況	<p>かんべ茶屋、年2回の出雲かんべの里の全体イベント、丘のクラフト展(工芸展)、語りの夕べ、旧暦の行事、新そばまつり、すずめの市、森のプレーパーク、森の学校、丘のクラフト塾、夏の森まつり</p>

4. 特記事項

特になし

5. 今年度の目標・課題

令和2年度に地方創生拠点整備交付金を活用して工芸館のリノベーションを実施した。今年度は改修した施設を活かして、市内工芸作家の拠点となるような施設運営ができるよう、取り組む必要がある。